帝京大学　教職センターニュースレター

第２４号　2022..11.4
帝京大学教職センター事務局
（八王子キャンパス）
TEL　042(678)3993

## 教職センターニュースレターを多くの方にお届けします

教職センターニュースレターは 2010 年 10 月に第 1 号が発行されてから 13 年間、教職センターの事業や教職課程を履修している学生の様子などを、保護者の方や教育関係者、本学を目指す高校生の皆さんにお届けしてきました。そのニュースレターの対象を学生の皆さんにも広げ、さらに円滑に届けられるよう、今年度から電子出版物で発行することにしました。このことにより、帝京大学の教職課程について、これまで以上に広く多くの方にお知らせすることができるようになります。そして、閲覧される皆さんには、これからも教職センターニュースレターを本学の教職課程に係る情報の一つとしていただきたいと思います。

電子出版物は帝京大学のホームページと、学生の皆さんにはポータルや LMS からもご覧いただけます。
ホームページは https://www.teikyo-u.ac.jp/affiliate/laboratory/teaching_labo
または、右の二次元バーコードからアクセスすることができます。

## 合格者の喜びの声【第 1 回】

教員採用選考試験合格者から届いた「声」を 2 回にわたってお届けします。

◆初等教育学科 西村梨来さん 横浜市、小学校 大学推薦

教員採用選考試験に大学推薦制度がある教育委員会があります。これは、自治体が指定する推薦基準を満たす学生で、当該自治体での採用を第一希望として、学長が推薦する学生が対象になります。(注：大学推薦を受けた自治体に合格した際には、必ずその自治体に就職することが大学推薦の条件になっています。)

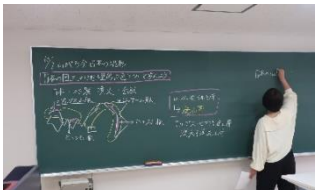
合格発表の瞬間、自分の番号が見付かって、今まで頑張ってきてよかったと心から思いました。そしてその喜びを一番に両親へ伝えました。自分一人ではここまでくることは不可能だったと思います。どんな結果であれ、友達と先生と、家族と駆け抜けた教員採用選考試験までの日々が宝物であると思える時間を過ごすことができました。私は大学推薦で横浜市を志望したので、一般受験の人よりも早くスタートを切れるように準備を進めました。自分と同じ自治体の人と学習することに拘らず、いろいろな人と学習することで良い刺激が得られました。教員採用選考試験に精通している教職センターの先生方が的確に指導してくださいました。

◆史学科 笠原理加さん 川崎市、中・高等学校 一般

教員採用選考試験を受験する自治体を決める際、働きたい自治体と合格の可能性とを考えて悩むことがあると思います。

現役で合格することが難しいと聞いていたので、試験の結果発表で自分の番号があった時、驚きすぎて腰が抜けそうになりました。私は一般選考で第一志望の川崎市を受験するか、大学推薦で第二志望の相模原市を受験するか迷っていました。大学推薦の方が合格に近付くかもとは思いましたが、悩みに悩んでやはり一番働きたい川崎市を受験することを決意し、最後の 1 分 1 秒まで大切にしてたくさん学習してきました。今までの人生でこんなにたくさん勉強したのは初めてであり、途中で心が折れそうになって何度も泣きましたが、絶対教員になりたいという目標を強くもって走り抜きました。その努力が報われたことが嬉しく、何よりも合格したことで自分に自信をもつことができました。本当に嬉しいです。

## 教師力養成講座


板書計画に基づいた活動の様子

来年 4 月から教壇に立つ学生や教職を目指す学生が、体験的な学修活動（授業づくり、ICT の活用等）を通して、教師として必要な実践的な指導力を身に付けるための「教師力養成講座」が開催されています。どの学年でも参加することができます。ぜひ、ご参加ください。

## 11 月・12 月教職センター企画のお知らせ

### しゃべり場

今年の教員採用選考試験に合格した先輩から直接話を聞いたり、質問したりすることができる場（機会）です。教員採用選考試験対策や大学推薦のこと、各自治体の情報の集め方など、具体的な話を聞くことができます。お昼の時間ですから気軽にご参加ください。
日程：11 月 10 日（木）12 月 8 日（木）の 2 日間
時間：12；25～12；50　　場所：9 号館 4 階

### 教育委員会説明会

各教育委員会から教員採用選考試験について話を聞くことができます。東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県・千葉市、さいたま市、川崎市、横浜市、茨城県、相模原市（説明会日程順）の 9 つの教育委員会と私立学校の説明会が行われます。日程は掲示・チラシで確認ください。

## 教職センターの教員からのメッセージ

**諦めからは　何も生まれない**　篠原　政一

都内公立中学校教員・管理職として 36 年間勤め今年度より、教職センターの准教授として着任いたしました。バレーボールが大好きで、学生の時は選手として、教員時代は部活動指導に努め、管理職となってからは運営側で大会のサポートに携わりました。この時の経験からも「諦めからは　何も生まれない」をモットーにしています。本学でもこのことを心がけ、教職を目指す学生の皆さんを全力でサポートさせていただきます。精一杯、頑張りますので、よろしくお願いいたします。